

# 貝塚市公共施設等総合管理計画 【概要版】

## 第1章 はじめに

① 貝塚市の公共施設等（公共建築物及びインフラ）を効率的かつ持続的に機能させ、公共サービスの提供を維持することを目的に、「貝塚市公共施設等総合管理計画」を見直したものです。

【対象施設】 公共建築物100施設

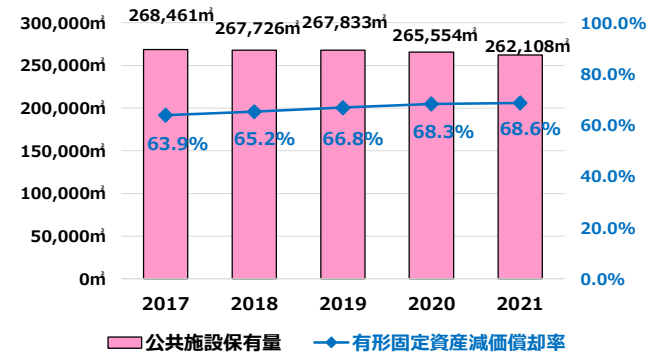
インフラ(道路・橋梁・上下水道・公園)

【計画期間】 2024～2035年度（中期）

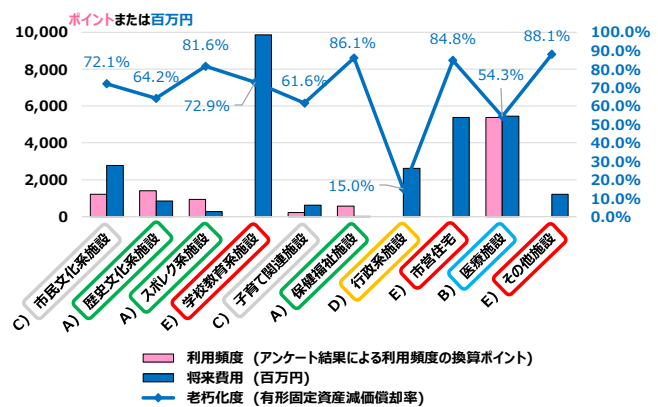
【経費の推計期間】 2024～2055年度（長期）

## 第2章 公共施設等の現況及び将来の見通し

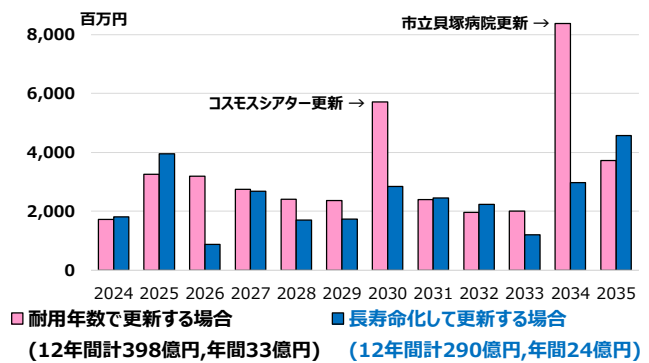
① 公共施設保有量（面積計）は2021(令和3)年度末に262,108㎡となり微減傾向にあります。施設の耐用年数に対する供用期間の長さから算定され、老朽化度を表す有形固定資産減価償却率は68.6%であり、府内類似団体11市\*の単純平均65.5%と比較して老朽化がやや先行しています。



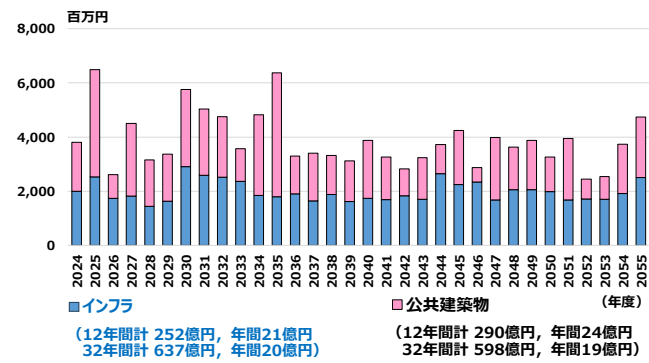
② 市民アンケートに基づく利用頻度\*\*（最も利用する20ポイント+よく利用する10ポイントで換算）、将来費用（予防保全+事後保全）、老朽化度（有形固定資産減価償却率）から施設類型別に、下図のA群～E群の特性に分類できます。



③ 公共建築物に係る修繕・更新経費は、事後保全を実施して耐用年数後に更新する場合、年間33億円\*\*\*と算定されます。予防保全を加えて実施し、耐用年数の約1.3倍まで長寿命化を図る場合、更新頻度の間隔を長期化できるため、年間24億円で費用抑制できることが見込まれます。



④ インフラ資産のうち道路・橋梁・公園は耐用年数経過後に固定資産台帳上の再調達価格により更新し、インフラ資産に係る経費は、年間21億円と算定されます。



⑤ 将来に係る経費のうち一般会計の財政規模と比較すると、一般会計の公共施設及びインフラ施設には、今後、年間26億円から31億円の経費が見込まれるものとなります。これは、一般会計における直近の投資的経費及び維持補修費の合計である、30.6億円～38.7億円と同水準であるが、今後人口減少による税収の減少が見込まれるため、公共建築物の予防保全による長寿命化と、施設の減築、除却のほか、民間資本導入等による財政抑制が必要となります。

## 第3章 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

①【取組体制】本計画は、公共施設等総合管理計画推進委員会を主体として取組みます。



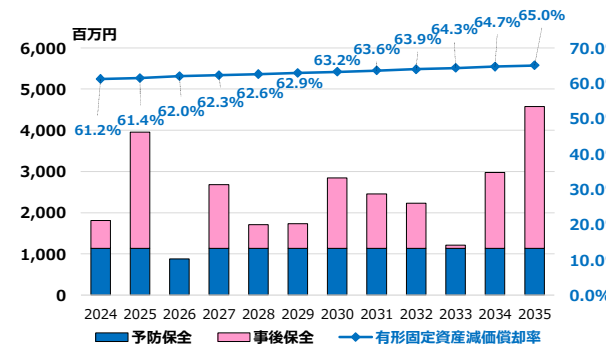
②【基本的な考え方】「貝塚市ファシリティマネジメント基本構想」で示した基本理念を受け、「貝塚市ファシリティマネジメント基本方針」で示す、次の4項目を公共施設等の管理の基本的な考え方とします。

- 1)安全性・快適性の向上
- 2)社会ニーズへの的確な対応
- 3)ファシリティの最適化とエネルギー消費の削減
- 4) 市民と行政の協働

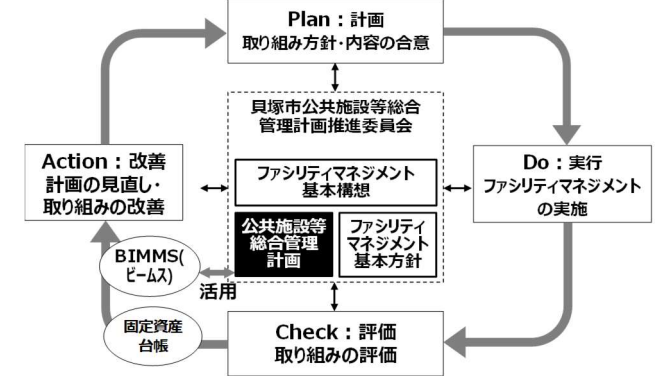
③【実施方針】次の10項目を実施方針として、公共施設等の管理を進めます。

- 1)点検・診断等の実施方針
- 2)維持管理・更新等の実施方針
- 3)安全確保の実施方針
- 4)耐震化の実施方針
- 5)長寿命化の実施方針
- 6)ユニバーサルデザイン化の推進方針
- 7) 脱炭素化の推進方針
- 8) 統合や廃止の推進方針
- 9) 数値目標と地方公会計の活用
- 10) 広域連携

④【数値目標】予防保全による施設老朽化の進行を防ぐ指標として、有形固定資産減価償却率を府内類似団体水準である65.5%以下に維持することを計画目標とします。



⑤【PDCA】「貝塚市公共施設等総合管理計画推進委員会」を中心に、PDCAマネジメントサイクルを構築し、情報提供、啓発、計画協議、合意形成、計画実施などの段階を踏みながら、取組みの推進を図ります。



## 第4章 施設類型別の管理に関する基本的な方針

①【施設類型別の管理に関する基本方針】

- 1)市民文化系施設：コスモシアターの長寿命化、広域連携の検討、地区公民館の長寿命化、青少年人権教育交流館の複合化
- 2)歴史文化系施設：市民図書館等の長寿命化、市民図書館の広域連携での相互利用サービスを推進
- 3)スポーツレクリエーション系施設：総合体育館の長寿命化、広域連携や官民連携の検討
- 4)学校教育系施設：学校の長寿命化
- 5)子育て関連施設：こども園・幼稚園の長寿命化
- 6)保健福祉施設：ひと・ふれあいセンターの複合化
- 7)行政系施設：消防本部・出張所の長寿命化、分団器具庫の更新等
- 8)市営住宅：木造住宅群の解体、中層住宅の空住戸の有効活用
- 9)医療施設：市立貝塚病院の長寿命化
- 10)その他施設：衛生事業所等のインフラ系建築物の長寿命化、東共同浴場の複合化

②【インフラ資産の管理に関する基本的方針】

- 11)道路：予防保全、長寿命化
- 12)橋梁：予防保全、長寿命化
- 13)上水道施設：予防保全、長寿命化
- 14)下水道施設：予防保全、長寿命化
- 15)公園：点検・維持管理、にぎわいの創出
- 16)地域インフラ群再生戦略マネジメント：官民連携によるインフラメンテナンスの推進

\* 府内類似団体11市：泉大津市,貝塚市,柏原市,摂津市,高石市,藤井寺市,泉南市,四條畷市,交野市,大阪狭山市,阪南市  
 \*\* 利用頻度：市民アンケートにおいては、学校教育系施設、行政系施設、市営住宅の利用頻度は質問項目として設定していない  
 \*\*\* 将来の修繕・更新費：一般財団法人建築保全センター「建築物のライフサイクルコスト」プログラムより算定